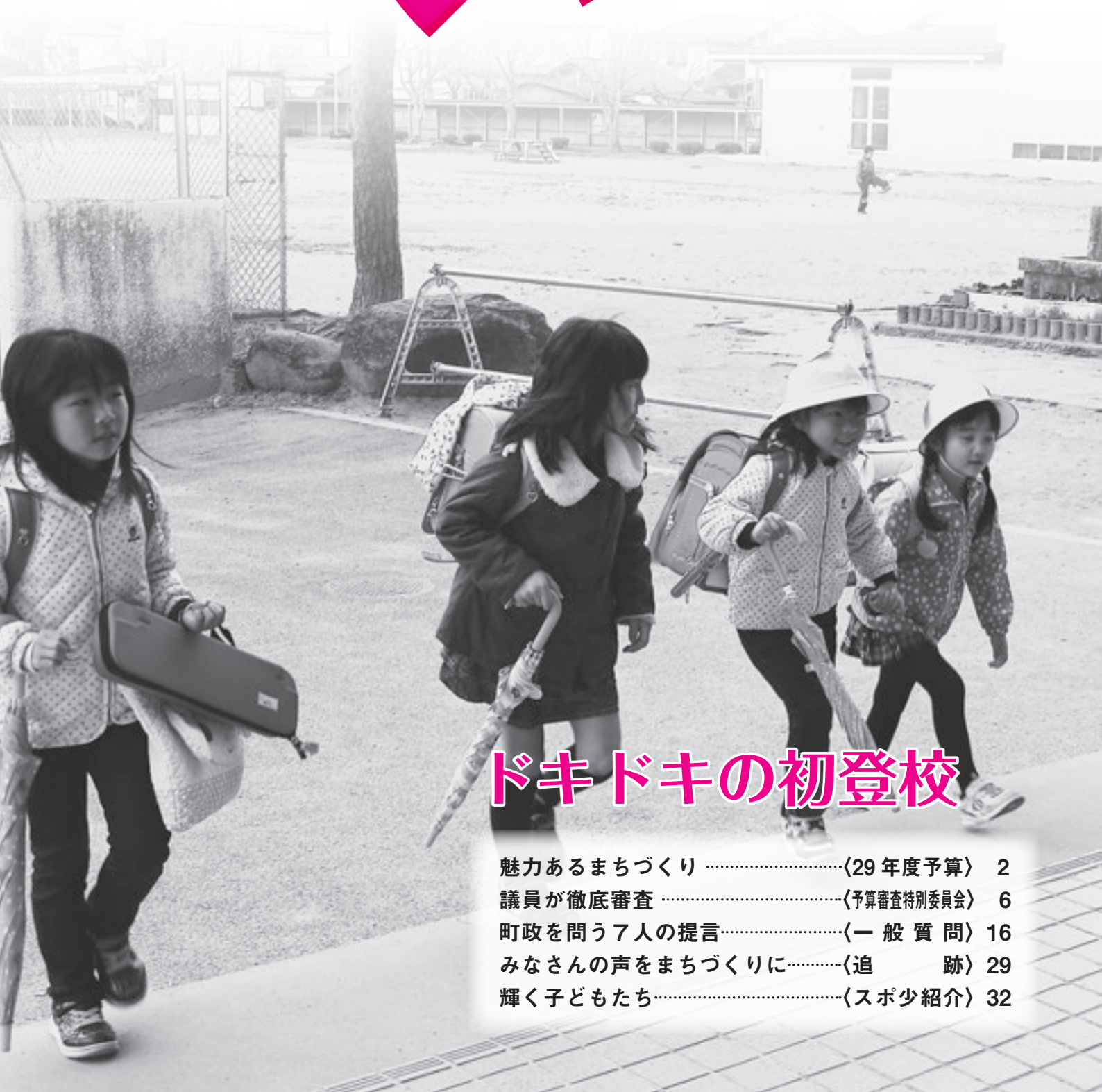


 議会だより

わくや

3月会議号
2017.5.15
No.189



ドキドキの初登校

魅力あるまちづくり	〈29年度予算〉	2
議員が徹底審査	〈予算審査特別委員会〉	6
町政を問う7人の提言	〈一般質問〉	16
みなさんの声をまちづくりに	〈追跡〉	29
輝く子どもたち	〈スポ少紹介〉	32

予算決まる

(前年比 -2億1,849万円)

取り崩し 厳しい財政運営続く

平成29年
3月会議

29
年度
予算

健康・福祉



地域医療対策事業

(継続)

2,106万円 (234万円増)

石巻市夜間急患センターの運営にも参画。

健康づくり推進事業

(継続)

378万円 (28万円増)

健康推進員の育成、地域住民の健康行動の支援。地域での健康教室などの拡大。

障害者自立支援事業

(継続)

2億5,000万円 (2,000万円増)

子育て・教育



就学応援交付金交付事業

(新規)

555万円

小中学校の学級費の一部を交付。

子育て支援事業

(継続)

1,356万円 (71万円増)

<第三子入学祝金>小学校に入学する児童のうち、第三子以降の児童に入学祝金を支給。

子ども医療費助成事業

(継続)

5,490万円 (89万円増)

15歳から18歳に拡大し、所得制限を廃止。

関連質疑

健康パークの整備を

問 健康パーク施設の橋が通行止めになっているが、今後はどのようにしていくのか。あの一帯も整備をするべきと考えるが。

答 橋については補修するか、撤去するか検討中である。他の設備の整備については、今後検討していく。

関連質疑

第三子入学祝金とは

問 今年度の対象者は何名か。今後も継続していくのか。

答 対象は17人で、一人につき3万円を交付する。県からの2分の1の補助があるので続けていきたい。就学用品への助成である。

3月会議は、3月9日から17日までの9日間の会期で開催されました。条例改正など13件、平成28年度補正予算10件、平成29年度予算11件の審議を行い、全て原案どおり可決しました。一般質問は7人の議員が11項目の質問を行いました。

※議会だよりわくやに掲載している事業費については、万円未満を切り捨てて掲載しています。

魅力あるまちづくり

一般会計当初予算 **68億4,638万円**

財政調整基金 **1億2,200万円**

目玉事業

29
年度
予算

協働のまちづくり	安心・安全	産業の振興
		
<p>地域おこし協力隊事業 (新規) 1,188 万円</p> <p>活力ある都市住民を「地域おこし協力隊」として委嘱し、町の活性化を図る。</p> <p>生薬を活かしたまちづくり事業 (継続) 346 万円 (316 万円増)</p> <p>支援団体への補助とともに、加工品の製造及び活動の PR を図る。</p> <p>かがやく協働まちづくり事業 (継続) 60 万円 (30 万円減)</p> <p>個性ある地域づくりを支援。</p>	<p>防災マップ作成事業 (新規) 491 万円</p> <p>浸水想定区域図などを基に、より有効性のある防災マップを作成。</p> <p>防犯灯設置事業 (新規) 300 万円</p> <p>町が主体となり、計画的な防犯灯設置を推進。</p> <p>道路維持事業 (継続) 5,036 万円 (80 万円増)</p>	<p>起業家創出プログラム事業 (新規) 100 万円</p> <p>地域で起業・創業を目指す人を対象にビジネススクールとビジネスマッチングを提供。</p> <p>地域ブランド米創出支援事業 (新規) 400 万円</p> <p>*金のいぶき導入を行うため、生産体制の確立及び販売促進を通じた涌谷ブランドの定着を図る。また、ササニシキの復権を目指し付加価値を加えた生産に取り組む。</p> <p>園芸特産重点強化整備事業 (継続) 800 万円 (43 万円増)</p>
<p>関連質疑</p>	<p>関連質疑</p>	<p>関連質疑</p>
<p>補助金減額の理由は</p> <p>問 地域活性化実行委員会事業補助金が今年度は予算措置されていないが、理由は。</p> <p>答 「食の町民まつり」は所期の目的を達成したので、産業祭と合わせて検討していく。</p>	<p>防災マップ作成に当たって</p> <p>問 防災マップをB4版にするメリットと、冊子にする理由は。また、地域のことは地元の人が良く知っている。作成段階で地域の人の意見を聞くのか。</p> <p>答 他の冊子と間違いにくい。縮尺が大きくなり分冊となる。自主防災組織の意見も聴取する。</p>	<p>農畜産物の消費拡大を</p> <p>問 農業振興の一環として、町内の農畜産物の消費拡大を行うべきと考えるが。</p> <p>答 販売所、販売ルートなど、拡大策を検討する。</p>

※金のいぶきは白米と同じように手軽に食べられる玄米で、機能性食品向けに改良された新品種。

「町政運営の基本的な考え方」

- 少子化の抑制、定住人口の獲得、人口減少社会への適応－「涌谷まち・ひとデザインラボ」や「地域おこし協力隊」事業などをさらに拡充していく。
- 企業誘致政策－1社と立地協定を締結したが、2社目・3社目と続くよう積極的に誘致活動を進め、既存企業へ対する支援方法についても検討を行う。



一般会計の主な施策・事業（2－3ページに掲載したものは除く）

- 1 子どもの成長支えるまちづくり
乳幼児のロタウィルスワクチン接種費用を全額助成
- 2 健康長寿に向けたまちづくり
地域包括ケアシステム構築の推進
- 3 交流が豊かさを育むまちづくり
「中学生海外派遣研修事業」を拡充（自己負担を15万円→5万円）
- 4 安全で快適な環境のまちづくり
城山地区の避難路確保のため、町道沢1号線改良工事を実施
- 5 協働による自立したまちづくり
地域の活性化とコミュニティ環境の充実を図る

町民医療福祉センター 平成29年度重点施策

- 1 第2次わくや健康ステップ21計画の推進
- 2 データヘルス計画の推進
- 3 生涯にわたる健康づくりの推進と地区組織活動の強化
- 4 地域福祉計画等の策定
- 5 地域支援事業の推進
- 6 子育て支援事業の推進
- 7 新涌谷町町民医療福祉センター国民健康保険病院改革プランの推進
- 8 在宅復帰・在宅療養支援機能の強化
- 9 利用者の生活に寄り添う、丁寧で暖かいケアを提供



町民医療福祉センター 運営方針に対する質疑

問 外来部門の収支改善について考えは。

答 在宅、健診の部門も含めて、病院を利用してもらう人を確保していくことが必要と思う。

問 医師の確保など、安定的な病院づくりを目指してほしいが。

答 当病院は予防や健康づくりに力を入れていく。それに応じて、涌谷町の医療費や保険料は非常に低い。将来を見据えて計画を立てていくのが大事だと考えている。

問 今度、消化器が専門の医師が病院に赴任するようだが、病気を減らすために新しい取り組みは。

答 専門の医師が増えることは、健康づくり・予防活動につながると考えている。早期発見、早期治療に結びつけていく。

施政方針に対する総括質問

公約の実現に向けて

問 大橋町長が就任してから2回目の当初予算編成となるが、選挙公約を実現するために、特に力を入れて具体化したものは何か。

答 子どもの成長支えるまちづくりとして、子育て支援体制を整備する。また、第三子小学校入学祝金を新設し、実施していく。

町長の考えは

問 活力ある涌谷の持続や人口減少の抑制について、どのように考えているのか。

答 地域ブランド米創出事業や企業誘致のほか、婚活事業や結婚新生活支援補助金などの定住対策を実施していく。

安定した財政運営に向けて

問 町財政について、今後大変厳しい財政運営が続いていくものと述べているが、平成29年度予算規模は昨年度より減額予算になっている。将来に向けての安定した財政運営にどのように取り組むつもりなのか。

答 平成29年度においても、財政調整基金を取り崩しての予算編成であ

り、大変厳しい財政状況となっている。しかし、今ここで、いわゆる「守り」の政策へ方針転換をしていくと、一定の改善は図れるものの、増収が見込めない。安定した財政運営の為に、全職員が統一した認識の下、継続事業の廃止を含め経費圧縮を推進することも考えなければならぬ。



現状維持ではなくよりよいまちづくりのために

特別会計運営方針ピックアップ

公共下水道事業特別会計

江合川左岸地区の市街地浸水対策として、佐平治雨水排水ポンプ場が平成29年度完成。涌谷駅西側市街地の浸水対策として、アルプス電気涌谷工場前の排水路整備を継続。

農業集落排水事業特別会計

将来に向けて最適規模での施設管理及び長寿命化事業を推進。

水道事業会計

老朽管更新事業として、本町・新町地内舗装復旧工事。

北田地内、渋江地内、岸ヶ森西地内で配水管布設替工事、花勝山中継ポンプ場送水ポンプ交換工事、六軒町裏地内水管橋布設替工事の実施。



予算審査特別委員会

予算審査特別委員会を設置し、平成29年度各種会計の当初予算を審査しました。

主な質疑と答弁をお知らせします。



予算審査特別委員会 久 勉 委員長

予算審査

一般会計

総括質疑

遠藤 釈雄 委員

財源の確保を

問

国や県からの財源引き出し額が少ない。情報収集力を高め、更に財源確保に努めるべきで、本予算案は、限られた財源の中でも積極的に新事業を組み入れているが、各課事業費の減額などからみて職員の士気低下が心配である。

答

国県はもちろん、それ以外でも歳入確保には一段と努めていく。歳出予算の計上では、各課で十分に検討して積み上げた結果であり、職員の士気を低下させることはない。

門田 善則 委員

町長の考えを予算に反映せよ

問

町長のカラーが見えない。選挙公約などは、予算に反映されているのか。今後も歳入は減少していくことが考えられるが、財源確保はどのように行うのか。

答

子育て支援はかなり手厚く措置したつもりである。現在は、財源を伸ばすための種まきの時期だと捉えている。この地域の産業は農業がベースだと考えているので、それをしっかりと財源確保に結びつけていく。

只野 順 委員

繰り出し金の見直しを

問

繰り出しが一般財源を圧縮している。不安要素となっている。国保病院への繰り出しや、大崎広域事務組合会計負担金の繰り出しを見直すべきでは。

答

町税は14億円で推移しているが、16億18億円にしたい。病院への繰り出しや大崎広域の負担金を心配している。

問

事業の見直し、職員定数管理について、適正配置で業務の改善を。

答

行財政改革で無駄のない財政運営をする。例えば紙資料からパソコンへの切り替えなど見直しをしながら進める。人事異動配置は管理計画に基づいて行っている。



プラネタリウム館がリニューアル（大崎生涯学習センター）

歳入

竹中 弘光 委員

公社への貸付金返済は

問 地域振興公社貸付金返還金とあるが、返済されるのか。

答 貸付金は現在、猶予している状況であり、今後、法人化を図り、返済計画を立てて返済していく。

後藤 洋一 委員

町税の徴収に努力を

問 東日本大震災から6年が経過し、町内には何年も塩漬け状態になっている場所や、徴収困難なケースがある。地権者と協議し、解決方向へ積極的に取り組むべきではないか。

答 役場の情報には限られたものがある。町民の協力と、県滞納整理機構との連携で、滞納額を減少するよう進める。

佐々木みさ子 委員

待機児童への対応は

問 こども園・保育園の負担が増えているが待機児童は。待機通知書は保護者の立場を考慮して出すべきでは。

答 3歳未満児の待機は26人。通知内容は保護者の理解を得られるように通知したい。

(21Pに関連質問)

稲葉 定 委員

太陽光発電

問 発電用のソーラーパネルを町内で見かけられるようになったが、税収にどのような影響が出たのか。総面積はどれくらいあるのか。

答 山林、農地などの税額が宅地並の課税となり、50〜100倍ぐらいの増収となっている。総面積は約14haである。

予算審査



町内に増えてきている大規模な太陽光発電施設

予算審査

稲葉 定 委員

なぜ法人化なのか

問 健康文化複合温泉施設の指定管理者である涌谷町地域振興

公社の法人移行はなぜ一般社団法人という形態にしたのか。株式会社という選択肢もあったのでは。

答 利益追求型ではないということ、条例に制約があるため。

門田 善則 委員

責任の所在は

問 平成29年度も地域振興公社に町職員を派遣することだが、仮に何かあった場合、責任の所在は。

答 法人化すれば、最終的な責任は理事長が負う形になる。ただ、町職員も組織に所属すれば、その組織の中での責任は出てくる。

医療福祉センター費

門田 善則 委員

病院経営に生かせ

問 今後、病院の健全な経営を行っていく上で、各種委員の意見をしっかりと反映してもらいたいと思うが。

答 運営委員の中には、病院事業の経験者や町民の代表者も含まれている。待ち時間の改善、部門ごとの目標設定の明確化など、意見を取り入れて実行に移している。

農業費

後藤 洋一 委員

最適化推進委員の役割は

問 農業委員会に関する法律が、議会の同意を要件とする市町村長の任命に変わるが、その中で農地利用最適化推進委員の役割をどのように考えているのか。

答 農地利用の最適化に向けた現地活動など、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止、新規参入の促進など、農業委員と連携を取りながら推進していく。

石仏広場を整備して

大友 啓一 委員

問 石仏広場の、バーベキューなどができる施設の屋根を支えている柱が腐食して危険である。早急に修理すべきである。

飲食する所には環境の面からもトイレが必要と考えるが。

答 柱については、早期に修繕する方向で考えている。トイレについては、あの近辺に2ヶ所あるのが、難しい部分があるが、検討していく。

歳出

総務管理費

大泉 治 委員

洋式トイレを増やせ

問 幼稚園・小学校・中学校のトイレの洋式化は、サービスや支援策ではなく必要不可欠なものとなっている。まだまだ整備が進んでいない。早急に対応すべきでは。

答 担当課と相談しながら、なるべく早く洋式化が図れるよう進めていく。

只野 順 委員

研修館の管理を徹底すべき

問 器具やトイレ、シャワーの破損がみられる。利用者の入館管理や利便性からも見直しが必要では。

答 巡回などしているが、管理体制を徹底する。

商工費

佐々木敏雄 委員

企業支援の考えは

問 既存企業への支援の検討や意思疎通を強化するとなつては、どのようなことを考えているのか。

答 町内企業の会として「こがね会」があったが消滅した。もう一度そのような会を発足させ、企業との情報交換を図っていききたい。

消防費

大泉 治 委員

避難所の整備を

問 避難所は車いすや老人・障がい者がスムーズに避難できるように、出入口の整備が必要であるが。

答 調査して避難に支障のないよう考えていく。

教育総務費

杉浦 謙一 委員

支給の時期は

問 就学応援交付金、就学援助費の支給時期は。

答 交付金については検討中である。就学援助費は7月、12月、2月に支給する。

問 就学援助費を早く支給できないのか。

答 県内でも平成30年度を目途に検討している自治体もあるのですが、今後の動向を見て考えていきたい。

就学応援交付金とは

遠藤 釈雄 委員

問 就学応援交付金事業の本質、目的は何か。

答 保護者の経済格差が子どもの教育格差につながるないように配慮した新規事業である。

問 この事業の意に反し、保護者の経済格差によって子どもが傷つくようになってはならない。本事業はひたすら子どもの成長を願い、その才能を伸ばす視点でのみ執行されるべきと思うが。

答 事業の狙いはそこにある。この事業が子どもの健全な成長につながることを願っている。

伝統芸能の継承

鈴木 英雅 委員

問 総合的な学習の授業で伝統芸能を各小・中学校で取り入れて行っているが、習う意義なども教えながら修得させるべきでは。

答 意義を理解させ行っていく。

十文字学園 推薦枠利用を

竹中 弘光 委員

問 十文字学園女子大学の特別推薦枠があるのに、利用されていないが。

答 推薦枠が人間福祉に限定し、同高校の発展に寄与するよう、学部の追加などを大学に依頼していきたい。



子どもたちの成長のために 就学応援交付金

予算審査

特別会計

国民健康保険 病院事業会計

杉浦 謙一 委員

**患者数の減少に
歯止めを**

問 年々外来患者が減少しているが、外来収益を上げるには。

答 なかなか難しい問題だが、国保病院を受診する人を増やすことである。

問 診察を窓口で断る事例があるようだが、納得いく説明をすべきでは。

答 申し訳なく思っている。今後、そのようなことのないよう説明責任を含め対応したい。

予算審査

竹中 弘光 委員

救急指定廃止の検討を

問 大崎市及び石巻市と契約したので、国保病院の救急受付を廃止してはどうか。

答 かかりつけの患者にとっては救急受付があったほうがいいが、職員の負担や、経費などを勘案し検討する。

回復期病床の増を

問 超高齢化社会を考えると、在宅復帰に向けたリハビリなどをする回復期病床を増やすべきでは。

答 これからの国保病院の役割として、病床機能を転換し、回復期病床を増やしていくことが必要である。

只野 順 委員

**センターの
目指すものは**

問 町民医療福祉センター方針を町民の見える場所に掲げ、医療センターの役割をはっきりとすべきでは。

答 改革プランを進めながら、地域包括ケアシステムの構築を目指す。

問 センター長の後進の育成を。

答 現在の医師の高齢化などもあり、状況を見ながら考えていく。

門田 善則 委員

職員の教育は

問 職員教育はどのように行っているのか。議会での指摘事項を職員に伝えているのか。

答 研修などで、議会で指摘された事項も含めて、職員には徹底している。改善していかなければならないことは承知している。

問 センター長の考えは職員に浸透しているか。全員が同じ認識を共有することが大事であると思うが。

答 毎月の会議の中でも、町民からの要望や各種委員会からの指摘について検討し、徹底している。



期待される地域包括ケア病棟

水道事業会計

門田 善則 委員

町内企業の要望に
応えて

問 町内の企業から、水道を整備してほしいとの話があるが。

答 規模や時期を考えたまま進めていく。町としては、企業を盛り上げる形で事業展開をしていきたい。企業と地元の両方を給水区域に含められるよう進めていきたい。

訪問看護ステーション事業会計

鈴木 英雅 委員

事業の今後は

問 2025年問題で利用者が急増すると思われるが、今後の見通しは。

答 民間の施設でも行うようになり、今後の状況を確認し、スタッフの増員など、考えながら事業を進めていく。



今後も見通しを持って事業展開を

予算審査

平成29年度予算 賛成討論

大友 啓一 議員

子育て支援においては、新たに就学応援交付金、第三子小学校入学祝金を開始。子ども医療費助成事業は、18歳まで対象を拡大し所得制限を撤廃。中学生海外研修事業は自己負担を5万円程度とするなど、町長の子育て支援に対する思いが伝わる施策である。

農業振興においては、金のいぶき、ササニシキなどの高付加価値米への取り組みが、農業所得アップに繋がるものと期待する。

道路整備においては、観光振興にも直結する麓岳山線改良工事は、大変大きな第一歩となる事業である。

確実に大橋町政のカラーが見えてきたように感じる予算となっており、今後も更に町民の方々が良くなってきたと感じてもらえるように進めてもらいたい。

久 勉 議員

子育て支援策として、子ども医療費の対象を拡大し所得制限を撤廃、就学応援のための支援金の給付、第三子の入学祝金、新婚者への生活支援など、これまでにない施策として高く評価する。

企業誘致・病院経営・温泉施設の運営などについては、誘致企業も1社と協定を締結し、病院もこれまでになかった過去の数字の分析から、新たに部門毎の数値目標を掲げたことは大きな進歩である。また、温泉施設の運営についても改善に向けて検討されているということであり、町民の関心事に的確に対応していることと、浦谷中学校の通学路の防犯灯についても、20年来の懸案事項が今回措置されるなど、町民の日常生活に目に見えて、肌で感じるような政策の展開に賛意を評する。

議 案 審 議

提出案件 34 件 全て賛成全員で可決

人事案件に同意

情報公開・個人情報保護審査会委員

戸澤 準 一 氏
佐々木 了 章 氏
笠嶋 正 男 氏
久道 好 子 氏

人 権 擁 護 委 員

高橋 勝 一 氏

議 案 審 議

議案ピックアップ

議案第9号 涌谷町土地開発基金条例の一部を改正する条例

定額運用基金「土地開発基金」を5500万円減額し1億円に。
大崎地域広域行政事務組合の大型施設整備対応資金のため。

議案第10号 涌谷町児童福祉施設設置条例の一部を改正する条例

旧小里幼稚園内の小里笹岳学童クラブを笹岳白山小学校内に移転。

平成28年度 補正予算質疑

小里笹岳学童クラブを笹岳白山小学校内へ移設するための経費
町内学童クラブについて対象を4年生までとするための準備経費
地域振興公社指定管理料

増 額	36万円
減 額	76万円
減 額	1,750万円

答 震災以降件数が多くなっている。安易に繰り越しをしないよう、職員にしっかり指導する。

問 安易に考えていないかが13件と多い。自治法では例外的に認められているが、安易ではないか。

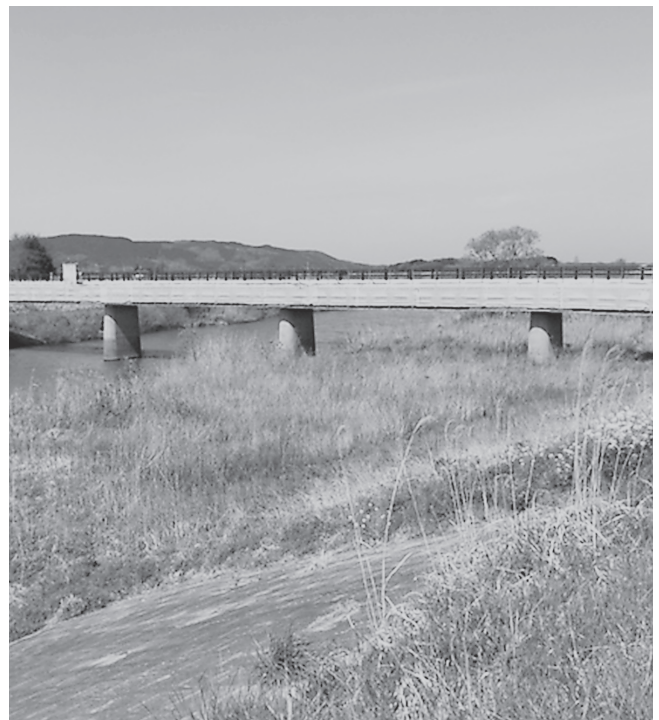
繰越明許費

一般会計

答 国からは予算執行を平準化するよう通達が来ているが、今後は適切な時期に予算措置を行う。

問 繰り越しの見込みがあれば、早い時期に予算措置すべきでは。

適切な時期に措置を



生栄巻大橋は8月末の完成見込み

歳出

地域振興公社関連

指定管理料減額の理由は

問 公社の努力で利益を出したのに、指定管理料を町に戻さなければならぬのはなぜか。

答 燃料費などの経費が思ったほどかからなかった。公社と協議の上、減額を決定した。

指定管理料と貸付金

問 指定管理料はある程度固定した形でないと、貸付金の返済は難しいのではないか。

答 指定管理料は、あくまでも施設の管理費用で、貸付金の返済をどう行っていくのかは、公社が考えるべきことである。

指定管理料も公社の利益に含めては

問 指定管理料も公社の利益に含め、貸付金の返済を考えては。

答 公社は4月から法人化する。返済計画を立てて、返済していく予定である。

ルール整備をしつかりと

問 指定管理料は返済すべき性質のものではない。積算根拠や委託の仕方、ルールを整備すべきと考えるが。

答 きちんとした事業計画を立てて、指定管理料の積算をしていく。

今後も努力続けて

問 利益が出たことは、公社の職員の努力の成果である。ルールを整備し、意欲を持って運営に取り組めるようにすべきである。

答 法人化によって、独立した会計の中でやっていくことになる。誤解を招かないような組織に育てていきたい。

法人化後の町の対応は

問 公社が法人になった場合、町は関与していくのか。

答 指定管理料の問題もあるので、法人になっても町は関与していく。

公社の運営は

問 健康文化複合温泉施設だから、利益が出なくてもいいのか。赤字は町民の負担になる。

答 赤字でもいいとは考えていない。



外部監査結果が待たれる地域振興公社

議案審議

新児童館建設を

問 八雲児童館は狭い。子育て支援に力を入れるのなら、新たに児童館を建設すべきでは。

答 平成29年度は85人ほどになるので、若干狭いと感じる。整備については今後の状況を見ながら、子ども・子育て会議で検討する。

保育士の確保を

問 保育士の確保のために、他の町よりも賃金を上げてでも採用に力を入れるべきである。

答 待遇は悪くはないと思うが、待遇改善の競争になっても困る。

国保病院への繰り出し

問 病院から要求があれば、将来的にもずっと支出し続けるのか。

答 支出し続けることは考えていない。

町も病院も良くなるために

問 町長とセンター長の相互理解が必要だと思うが。

答 意向は伝えている。なお意思疎通を密にしていく。

黄金山造成工事

問 明許繰越をしているが、当初予算ではダメな理由は。

答 工期を6月までに終わらせたいので、少しでも早く着手したい。

積算は適切だったか

問 渋江住宅防風フェンス設置工事で、差金が大きすぎるが。

答 積算価格よりも、製品の値引きが随分大きかった。

予算の執行は適切に

問 各課の予算措置の時期や管理は、財政担当課でもチェックすべきでは。

答 各課長に徹底する。緊張感をもって事務執行に当たりたい。

人員不足はないか

問 教育委員会は人員の不足では。

答 子育て支援関係の業務が教育委員会から子育て支援室に移るので、より現場を見据えた学校教育業務の執行が可能と思う。

人員の補充は

問 執行部では人員の補充などは考えないのか。

答 危機感を持って仕事をしよう指導していく。



完成間近な黄金山工業団地

特別会計

宅 地 造 成

事業特別会計

販売方法に工夫を

問 売れないのは販売方法に問題があるのでは。値段の設定は適切か。

答 販売のPRは広報への掲載、看板の設置、ホームページで行っている。平成24年度からは、被災者向けとして半額に設定した。

若者向け公営住宅は

問 町内の空き地や町有地に若者向けの公営住宅を建設するなど、町全体で検討すべきでは。

答 課内、全庁で検討していく。

一定の条件を満たせば家賃を半額にするなど、できるのであれば検討していきたい。

情報を共有し連携を

問 情報を町全体で共有して、将来のまちづくりにつながるよう連携をとって進めてもらいたい。

答 連携を持って、知恵を出して対応していきたい。

農業集落排水 事業特別会計

接続を増やせ

問 接続件数が少なく、将来財政面で町の足かせにならないか。対策は。

答 接続のPRや地道な活動を続けながら、全庁あげて検討していきたい。

事業の抜本的な解決策を

問 農集排は全戸加入しても運営していけない。抜本的な解決策が必要と考えるが。

答 個別訪問、金銭的な支援策も考えている。町内業者や地域の協力もお願いしていきたい。

国民健康保険 病院事業会計

将来の国保病院は

計画と支出の差額は

問 一般会計負担金総額と病院改革プランの一般会計負担金の差額は。

答 改革プランに対して4千万円ほど多くなっている。

問 地域包括ケア病床を4床増やす予定であるが、将来を見据えて地域包括ケア病棟を整備してはどうか。

答 国保病院は30年前の基準で建設されており、現在の国の地域包括ケア病棟の基準に合っていない。

将来を見据えて、病院の建て替えも含め、計画的に対応していく必要があると考える。



売れ残る分譲地



事業のあり方が問われている 農業集落排水事業

ズバリ

3月会議では、3月9日、10日に一般質問が行われ、7人の議員が町政全般について質問をしました。

質問と答弁は、質問した議員が600字以内で要約し、広報分科会委員が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。(URL <http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)



一般質問

町政をただす

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問い、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

佐々木敏雄 議員 (17 ページ)

- 1 幼稚園・保育園にも国際語である英語と触れ合う機会を設けるべき
- 2 歴史・観光事業推進と充実のために学校でも郷土史のカリキュラムを
- 3 災害拠点基地としての庁舎を西地区に建設すべき

久 勉 議員 (18 ページ)

- 1 文化財保護のために基金の創設を

竹中 弘光 議員 (19 ページ)

- 1 高齢者の免許証返納に対する町の対応

稲葉 定 議員 (20 ページ)

- 1 麓岳山系の観光開発

鈴木 英雅 議員 (21 ページ)

- 1 若年層の人口減少対策
- 2 子育て支援

杉浦 謙一 議員 (22 ページ)

- 1 放射能汚染廃棄物処分を再度問う
- 2 幼稚園のフッ化物洗口

大友 啓一 議員 (23 ページ)

- 1 小・中学校の給食無償化
- 2 国道346号線と交わる幹線道路の整備



佐々木敏雄 議員

一般質問

教育環境

幼稚園・保育園から「英語に親しめる町わくや」を実施せよ

答

英語と触れ合える機会を設けるよう検討する

問

グローバル化する社会で生きていく子どもたちは、国際語である英語の習得は不可欠である。

英語と多く触れ合える環境をつくることも行政の役割である。

生涯の知的財産を身に着けるため、わくやの子育て支援の特徴として「遊びや日常生活の中から」英語に触れられる環境について、町長はどう考えるか。



町長

※ ALT の配置までは考えていないが、ALT の空き時間などを有効に使い、触れ合える機会を設けるよう検討したい。

災害拠点

災害拠点基地の庁舎と避難所を西地区に建設すべき

答

避難所への早期避難体制を整備する

問

昨年4月発災の熊本地震では、5市町の本庁舎の対策本部が機能せず避難や救助に支障があった。

涌谷町庁舎も、昭和35年11月の落成で、56年間も経過している。

その間、幾多の地震にも遭遇しダメージがある。また、西地区には水害時の避難場所が足りない。

町民の安心・安全確保のために避難場所と災害対策本部となる庁舎とを一体的に整備すべきだ。緊急防災・減災事業の国の制度もある。

町長

西地区の指定避難場所は3箇所。速い段階で安全に避難できるように体制を整備する。



必要だ「避難所」

問

3箇所の避難場所では、収容人員からどこにも足りない。早急に避難場所の整備をすべきだ。国でも財政的支援があるが。

町長

避難マップの配布と、避難体制の整備をし、早い避難指示を出して避難してもらう。



涌谷町史

これも質問しました

答

郷土史教育

昭和42年以降の史実がない町史編さんすべき時期だ

資料収集に時間を要するが、検討していく

※ ALT (外国語指導助手) 英語の授業で日本人教師を補助する、英語を母語とする外国人。

文化財保護のために基金を創設せよ



久 勉 議員

答 文化財保護委員会で検討を行っている

一般質問

問

一町村で二つの国指定の文化財を保有している所はない。総合計画にもあるように、観光資源として有効活用、そして人口増が難しいのなら交流人口を増やすことで、活性化を図るためにも、整備やPRに力を入れる計画的な取り組みをすべきである。

そのために基金を創設し、年次計画を策定し事業にあたるべきである。また財源としては、ふるさと納税とゴルフ場利用税の一部をあててはどうか。

町長

涌谷町文化財保護委員会でも基金の目的・あり方などについてや、資料の購入、文化財の修復、活用目的などについて意見をいただき、検討をいただいているところである。

財源としては用途を指定した形でのふるさと納税の募集もあろうかと思うが、基金の創設については、検討し、対応したい。

問

3年後には伊達安芸宗重公の350年祭を控えているため、それも含めて検討すべきであり、あるいは寛文の鐘、妙見宮の絵馬などの修理が必要であるが、文化財保護委員等の意見を尊重し、検討すべきである。

町長

検討する。



町の文化財に指定されている仁王堂



免許証返納

高齢者の免許証返納に対する町の対応は

答 高齢者全体の生活の足の確保に努める

竹中弘光 議員

一般質問

平成28年度は16人の返納者があった。「高齢者運転免許取得者教育支援事業」を積極的に推進し、運転技術や運転機能の診断をすることにより、元気なうちは自分の力で運転ができるよう支援する取り組みが、健康維持ばかりでなく社会負担の軽減につながると考える。他の市町では、町民バスの半額助成などをしていて、免許証返納者だけ

問

近年、高齢者の交通事故が全国的に話題となっており、また、ブレーキとアクセルを踏み間違える事故や、高速道路の逆走などの事故が起きている。高齢になり運転免許証を返納すべきか迷っている人達への支援策や、支援金などは考えられないか。

町長

老人クラブの交通教室や交通安全週間のイベントなどにおいて、高齢者の交通事故発生状況などを説明し、返納を周知している。

でなく、高齢者全体の生活の足の確保対策に努める。

問

タクシー券の補助や町民バスの無料券などは考えられないか。

町長

町民バスの料金は平成7、8年頃に、いろいろの考えにより500円から1000円にしているものであり、今後検討する。

問

町民バスの路線を利用しやすくできないか。

町長

バス会社と交渉しながら、今後検討する。



安全運転も免許証返納も町の支援が必要

笠岳山系に観光客を呼びこめ



稲葉 定 議員

答

観光振興計画を策定し、観光開発に取り組んでいく

一般質問

問 笠岳山一円の歴史文化遺産を十分調べて把握しているか。

教育長 様々な機関の調査によりお

おむね明らかになっており、平成20年には笠峯寺宝物展を開催展示している。また未知の所蔵品もあると思われるので、今後調査に取り組み文化的価値を引き出す。

問 石仏広場、旧牧場会館はどのように活用していくのか。

町長 石仏には花をめでるグループや

野外バーベキューを楽しむ人々などが訪れている。また笠峯寺の護摩焚きや、若者のコンサートも行われたことがある。牧場会館跡地や、くり園は羊の放牧場と相まって好評を博している。昨年は地方創生事業の取り組みで女性限定ツアーを企画実行した。

今後は観光振興計画を策定し観光開発に取り組

んでいく。観光に欠かせない道路整備も行う。

問 将来的には展示施設が要求される

と思うが、杉伐採後の跡地利用などと併せ、笠峯寺と協議を重ねて観光産業を育ててほしい。また将来展示施設が具体化されるときには、目玉となる寛文の鐘や、例えば金の仏像の製作などと夢の広がるような仕掛けが欲しい。

町長 観光振興計画に基づき民間の事業者とも連携をして、面としての観光開発に取り組んでいく。

牧場会館跡地利用についてはぜひジンギスカンの復活を望む。他地区の成功例に学び、石仏広場とつながりを図り、誘客数アップを目指せ。



パワースポットとして定着しつつある笠峯寺



整備すれば親子連れなどでにぎわうはず 石仏公園



鈴木英雅 議員

人口減少対策

子どもを産み育てられる環境を

答 若者向けの公営住宅などを検討する

一般質問



子どもたちの笑顔があふれるまちに

問

町長の公約である若年層の人口減少対策で子どもを「安心して産み育てられる支援」を示している。子どもを産み育てられる環境を、更に充実する取り組みが必要と思うが考えは。

町長

母子健康手帳交付の際に保健師からの指導、助言、妊婦健診受診14回分の費用助成などを行っている。若い世代が定住できる若者向けの公営住宅などを検討する。

問

子育て世代の経済的な負担軽減の考えは。

町長

乳児用紙おむつ等購入費助成事業を実施し、子ども医療費助成事業の対象者を18歳まで拡大し所得制限を撤廃した。さらに、学童クラブ保育の朝、夕、各30分間延長、第三子小学校入学祝金3万円を新設し、教育費の負担軽減を行う。

子育て支援

保育士不足の解消を

答

人材確保に努める

問

さくらんぼこども園などで待機児童が0歳から2歳まで26人いる。全国的な傾向で、保育士不足などの原因があると思うが今後の対策は。

町長

保育士養成の学校、ハローワークなどと情報交換を行い、人材確保や施設整備など総合的に検討し待機児童解消に努める。

問

子育て支援については、福祉課の子育て支援班を子育て支援室に格上げし、一元的に支援を行うようだが、大変大きな問題であり、課で対応するべきと思うが考えは。

町長

班から室に格上げし、段階的に情勢を見ながら検討する。



待機児童解消を



杉浦謙一 議員

放射能汚染廃棄物

住民説明会で合意はとれたのか

答

今後も説明会などを開催し、半年後を見据えながら判断したい



住民の合意なしに試験焼却はできない

一般質問

問

昨年12月12日の住民説明会では「試験焼却に賛成発言なし」とマスコミで報じられた。試験焼却についての住民合意とは。

町長

処理方法への不安や疑問があり、一部の町民から反対の意見があった。一方で、早く進めてほしいとの意見もあった。説明会に出席した町民に理解いただくことが、合意につながると考える。今後も試験焼却に向けた説明会などを開き、県が設定している半年後を見据えながら判断したい。

フッ化物洗口

事故などの危険性はないか

答 心配ないと考える

問

フッ化物洗口は町内3幼稚園で行われているが、園児に対して劇薬であるフッ素を使用している洗口の仕方があるような方法か。

問

集団でのフッ化物洗口は事故などの危険性の問題がある。幼い子どもは思いもよらない行動をとるものだ。今後、計画や見直しなどの考えは。

町長

洗口方法としては、250 ppmのフッ化物洗口液5mlで行う毎日法で、昼食後に歯磨きを行い、その後フッ化物洗口液で1分間のうがいを実施している。実施に当たっては保護者に説明会を行い、同意の得られた園児のみ行っている。

町長

使用する洗口液5mlに含まれるフッ化物量は1・25mgと少量で、誤飲しても体に大きな影響はなく、心配ないと考える。計画としては29年度に、さくらんぼこども園で開始する。





大友啓一 議員

一般質問

給食費

小・中学校の給食を無償化せよ

答 国の支援措置などを調査する

問

子育て世帯の経済的負担を減らし、給食無償化によって若者の定住や移住促進につながり、また出生数の増にも期待できるのではないかと。

町長

無償化はまだ考えていないが、子育て支援の今年度の新規事業では、就学応援交付金と第三子以降の小学校入学祝金支給を実施する。子育て家庭の負担軽減を図る。

問

他市町村でやっていないことを先駆けて、インパクトのある子育て支援を思いきってやるべきと思うが。

町長

学校給食を通じて、食育・地産地消の推進により、伝統的食文化を深めるように尽力していく。

問

国の支援的交付金などを利用して、無償化にする方策もあると思うが。

町長

国の支援措置があるとなれば調査していく。しっかりと子どもを育てるといって考えに変わりない。



町内産の水菜を使ったおひたし

道路整備

町道の利便性を改善せよ

答

現状が改善されるよう協議、相談をしていく

問

国道346号線と交わる大崩・小里線の幹線道路から国道に出る場所が鋭角になっており、大型トラックなどが通行する際、屋根などに接触するような場所があり、通行に支障をきたしている。近くには120人を超す従業員を抱える会社があり、通勤道路にもなっている。早期の道路改良を望むが。

町長

通行に支障をきたしているところ、右折する際には困難な現状と認識している。この交差点は国道と河南・築館線の交差点が近いことから、拡幅するには交差点の位置を移動することも踏まえ、今後、公安委員会や地元及び地権者と



改善は町内企業への支援にもなる

現状が改善されるよう協議、相談をしていく。

陳情審査報告

採択

患者負担増による
受診抑制が起ころ
ないよう慎重審議
を求める

平成28年陳情第11号

「高額療養費制度」「後期高齢者の窓口負担」見直しの慎重審議と現行制度の継続を求める陳情書（教育厚生常任委員会付託）

委員会意見

涌谷町議会は以前にも、後期高齢者の保険料軽減特例措置について、今後も継続することの意見書を提出している。今回の陳情は、患者負担の軽減策の継続を求めるものである。
増加する医療費に対して、ある程度の患者負担については、やむを得ない面もあるが、涌谷町が進める早期発見早期治療のためにも、患者負担増による受診抑制が起らないよう慎重審議を求め

請願・陳情

議員発議

さらなる患者負担増で受診抑制を招かないように、現行制度の継続を

「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」等患者負担見直しの慎重審議と現行制度の継続を求める意見書（賛成全員で可決）

意見書要約

現在、国の審議会などでは、自己負担の引き上げや新たな患者負担が提言されている。

これら患者負担増は、多くの国民から医療を遠ざけ、とりわけ治療が長期にわたる高齢者の生活基盤そのものを圧迫する。現状でも重い患者負担を軽減することこそ求められている。

よって涌谷町議会は、政府及び国会に対し、さらなる患者負担増で受診抑制を招かないようにするため、慎重審議と現行制度の継続を求める。

提出先

内閣総理大臣など

皆さんの請願・陳情

平成29年陳情第2号

東日本大震災による被災者医療等一部負担金免除の継続・復活を求める陳情書

陳情者

東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター
網島 不二雄

陳情の要旨

東日本大震災による被災者医療等の一部負担金免除措置の継続と復活を次のように強く求める。
①平成29年度における免除措置の継続と復活。
②75歳以上の高齢者の免除措置の廃止は命にかかわる。後期高齢者に対するの免除措置復活のための働きかけを。
③全市町村及び後期高齢者医療でも免除措置が行えるよう、自治体負担の半額支援をするよう県に強く働きかけを。

審査の結果

配付となりました。

平成29年陳情第3号

平成29年度「給与所得等に係る市町村民税・道府県民税特別徴収税額の決定・変更通知書（特別徴収義務者用）」への個人番号記載の中止を求める陳情書

陳情者

宮城県保険医協会
理事長 井上 博之

陳情の要旨

平成29年度「給与所得等に係る市町村民税・道府県民税特別徴収税額の決定・変更通知書（特別徴収義務者用）」への個人番号の記載について、
①通知書に個人番号の記載をしないこと、②個人番号の記載欄を追加した「地方税法施行規則等の一部を改正する省令」の第三号様式変更を撤回するよう、国に対して意見書の提出を求める。

審査の結果

配付となりました。

平成29年陳情第4号

児童館を二本町地区に設置することに関する要望書

陳情者

本町親和会
会長 村上 洋次郎

陳情の要旨

児童館を二本町地区に設置するよう要望する。

要望の理由

①児童生徒が施設に通うに際し、分かりやすく、かつ安全な地区であること。
②保護者が地域の商店街に足を運ぶ頻度が増し、結果として商店街の賑わいが増すこと。
③施設の設置に空き地などを活用できれば、土地の有効活用に資すること。

審査の結果

教育厚生常任委員会に付託し、審査することとなりました。

常任委員会活動中間報告

涌谷町議会では、2年ごとの期間で各常任委員会でテーマを定め、町の事業・所管事務を調査しています。現在の各常任委員会の活動期間は平成28～29年の2年間で、今回の3月会議において、1年間の調査の中間報告が行われました。

総務産業建設常任委員会

テーマ 魅力あるまちづくりー企業誘致と若者の定住化、安心安全のまちづくりー

調査課題・問題	ま と め
企業誘致の実現	○黄金山工業団地においては、1社と立地協定を締結 ○企業立地推進に関する調査特別委員会を設置 →調査を特別委員会に委ねる
水害から町民の命を守る	○江合川右岸特殊堤工事は完工 ○今後、旧北上川、出来川及び田尻川についても調査 避難場所設定や整備状況については、調査を継続
県道河南築館線道路拡幅の早期実現を図る	○籠岳地区県道河南築館線道路改良を促進する会が発足 →宮城県に要望書を提出 ○涌谷町議会としても、宮城県知事と県議会に同様の要望書を提出 (28Pに要望書を掲載)

教育厚生常任委員会

テーマ 住み良いまちづくり

調査課題・問題	ま と め
教育委員会部門 学力向上、預かり保育・学 童保育、図書室の整備状況	○学力向上の成果が見えない ○未満児の待機者の解消を図る施策を早急に望む ○八雲児童館の建て替えも含めて検討を ○図書室の整備については、スピーディな事業の進展を望む
健康福祉部門 児童・生徒の肥満対策、 認知症対策、総合支援事業	○肥満対策については、教育部門との連携が見えない ○認知症対策のモデル地区として、成果に期待する
公営企業部門 病院改革プランの進行管 理、上下水道中長期計画の 進行管理	○病院改革プランについて、進捗状況を3ヶ月等で分析を行うよう、 進行管理を実施することを望む ○農業集落排水の接続率の向上について、抜本的な改革が望まれる
生活環境部門 空き家対策	○空き家バンク制度の事業展開の推移を見守る

議案番号	案 件 名
議案第 1 号	涌谷町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 (法律の改正に準じて条例を改正 働きながら育児がしやすい環境整備をさらにすすめるもの)

平成 29 年 2 月会議（2 月 10 日開催）

2 月会議では、昨年の 11 月に議会から町長に提言書を提出した、地域振興公社に対する個別外部監査を行うことについての審議がありました。個別外部監査を行う対象年度などを巡って、議員から町執行部の姿勢をたずねる声が多くあがりました。

2 月会議 提出案件 4 件

議案番号	案 件 名
議案第 2 号	個別外部監査契約に基づく監査によることについて (涌谷町健康文化複合温泉施設及びわくや万葉の里の指定管理者の出納事務等について、監査委員の監査に代えて個別外部監査契約に基づく監査を行おうとするもの)
議案第 3 号	平成 28 年度涌谷町一般会計補正予算（第 7 号） (公の施設の個別外部監査に要する経費、小里麓岳学童クラブを新しい麓岳白山小学校内に整備するための経費の増額 など)
議案第 4 号	個別外部監査契約の締結について (涌谷町健康文化複合温泉施設及びわくや万葉の里の指定管理者の出納事務等について、個別外部監査を実施するため契約を締結しようとするもの)
議案第 5 号	涌谷町自転車等駐車場条例（利用者の登録制を廃止し、利便性を向上させるとともに、新たに上涌谷駅前にも自転車等駐車場を整備したことから、公の施設として規定するもの）

2 月会議 採決状況 ○賛成：×反対（議長は採決に加わらない）

議案番号	案 件 名	竹中 弘光	佐々木 敏雄	佐々木 みさ子	稲葉 定	大友 啓一	只野 順	後藤 洋一	久 勉	杉浦 謙一	門田 善則	大泉 治	鈴木 英雅	遠藤 积雄
議案第 2 号	個別外部監査契約に基づく監査によることについて	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	議長
議案第 3 号	平成 28 年度涌谷町一般会計補正予算（第 7 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長
議案第 4 号	個別外部監査契約の締結について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	議長

議 案 審 議

議案第 2 号

個別外部監査契約に基づく監査によることについて

主 な 質 疑

問 対象は平成 26 年度と 27 年度ということであるが、なぜ 2 力年にしたのか。

答 また、RPF ボイラーに関しては、時期を改めて個別外部監査を行うのか。

RPF ボイラーの導入経過などについては、別の機会に改めて相談する。

問 なぜ平成 25 年度以前の監査をしないのか。

答 平成 25 年度以前についても、会計の手法は変わっていないということ、今回、26 年度と 27 年度を専門家にやっていただければ、その辺のことも明らかになると考えている。

答 平成 26 年度までは、町監査委員において監査を完了しているが、公認会計士による専門的な視点による監査を受けることで、地域振興公社の経営健全化に向けた課題が明らかになると考え、監査委員が行った平成 26 年度と、その時点でできなかった平成 27 年度の決算について、監査をするものである。

平成28年度 補正予算質疑

公の施設の個別外部監査委託料	172万円
小里笹岳学童クラブを笹岳白山小学校内に整備する設計委託料	93万円
図書室整備基本設計業務委託料	129万円

2月会議

小里笹岳 学童クラブ

問 笹岳白山小学校の武道館を考えているという答弁であったが、なぜ体育館のミーティングルームになったのか。

答 調査の上、再検討を行った結果、体育館の方が現実的に早く始められるという結論になった。

図書室は いつから？

問 図書室の整備が遅れている。完成はいつになるのか。

答 図書室の再開は来年度の予定である。現在、仕訳分類作業を行って、図書室が完成するまでは簡易的に段ボール製の書架を使い、公民館のロビーに配置して図書の貸し出しを行っていきたいと考えている。



現在の青少年ホーム事務室 図書室を心待ちにしている町民は多い

皆さんの請願・陳情

平成29年陳情第1号

要望書（県道河南築館線（太田・吉住地区）の早期整備について）

陳情者

笹岳振興会

会長 黒澤 行夫

要望事項

① 河南築館線は、新たに開校する笹岳白山小学校の通学路であり、事故の心配もあるため、早期着工・早期整備を強く要望する。

② 工事が進まない松崎工区の予算を、太田・吉住地区の道路拡張計画作成・現地測量へ流用すること。

③ 大型車両の待避所及び路肩の早期整備。

④ 舗装の劣化や埋設管等設置箇所の沈下が著しいため、大規模な路面の補修を要望する。

審査の結果

採択となりました。

主要地方道河南築館線の 早期整備に関する要望書

去る2月24日、涌谷町議会は主要地方道河南築館線の早期整備に関する要望書を、宮城県知事及び宮城県議会議長あてに提出しました。

議会は今後も、一刻も早く工事に取りかかるよう、関係機関に働きかけていきます。

要望の理由（抜粋して掲載）

主要地方道河南築館線に関しては、地域がひとつとなり早期の整備促進を願っており、この度本町議会に対して、早期整備についての陳情書が提出されるとともに、籠岳振興会、涌谷町籠岳地区区長会、籠岳地区教育振興会にて結成された「籠岳地区県道河南築館線 道路改良を推進する会」から宮城県知事に要望書の提出が検討されている。*（→推進する会は2月14日に宮城県知事宛てに要望書を提出）

町民の要望に応え、下記事項について格別なるご高配を賜りたく、要望申し上げます。

(1) 主要地方道河南築館線は籠岳地区住民の生活道路であるとともに、広域的な重要な道路である。

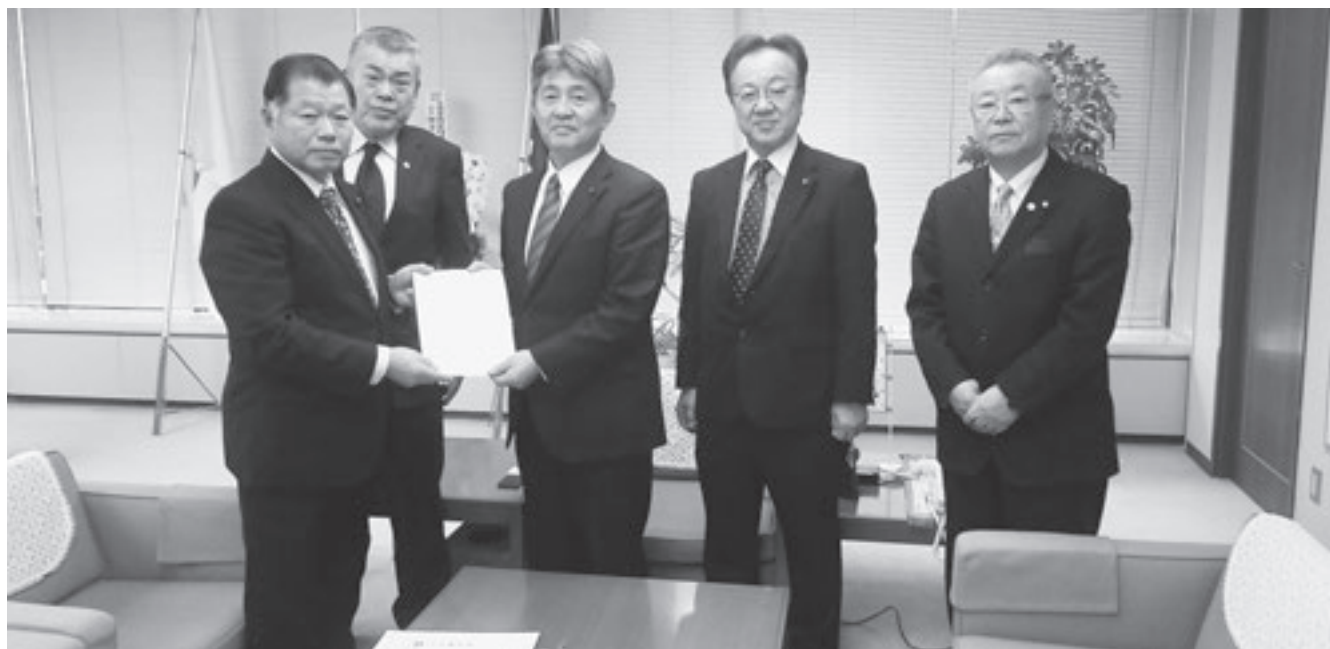
昨年4月に開校した「籠岳白山小学校」においては、本年3月に新校舎移転が予定されており、本主要地方道河南築館線を通学路として利用しているが、その一部が未整備のため、小学生及び保護者の交通事故が懸念される。

については、早期着工・早期整備を強く要望する。

(2) 主要地方道河南築館線では、未整備の太田・吉住地区において、大型車両の対面通行ができないところがある。

また、舗装の劣化や埋設管等設置箇所の沈下により通行に大変危険となっている。

については、既に用地買収済の箇所を利用し、大型車両の待避所及び路肩の整備を早期にお願いするとともに、路面の大規模な補修を要望する。



宮城県議会議長に要望書を提出

追跡

— まちの未来を、町民とともに —

今号から始めるこの企画では、議会において、これまでの議員の質問、質疑、提言に対して町がどのように答え、その後どう対応したのかを調査し、報告していきます。

町民の皆さんの意見をまちづくりにさらに反映させることができるよう、町民の代表である議会は、皆さんとともに取り組んでいきます。



追 「赤心地区」避難道路沢1号線

沢1号線は袋小路

避難路の確保は地域の長年の課題

跡 平成25年11月19日 火災発生

消火活動のため、地区内の住民は4時間ほど自動車の通行が遮断され、閉じこめられた状態に。

平成26年2月13日 議長に提出

平成26年陳情第3号

涌谷町涌谷「赤心地区」に、火災等の災害時の避難路等を整備することに関する陳情書
提出者 赤心地区に避難路を整備する会

陳情書の趣旨

住民の生命と財産を守る地方自治の本旨に則り、早期に実現し地区住民の不安を解消されるよう、沢1号線を延伸し、上町・福沢方面への車での通行を可能にすることを始め8項目を要望。

→ 総務産業建設常任委員会付託

平成26年3月～6月 総務産業建設常任委員会が現地調査及び担当課から意見聴取

陳情審査報告（平成26年6月12日）

できるだけ地域住民に分かりやすく、検討結果やスケジュールを示しながら、対話を重ね、町が提唱する「安心安全なまちづくり」の実現を実践することを委員会として強く要望する。

平成28年6月会議 一般質問

問 住民の生命・財産を守るのは行政の最も基本である。今後の計画は。

答 詳細設計、用地買収を実施し、できるだけ早期に改良工事を行う。

平成28年9月会議 沢1号線道路改良に係る測量設計委託料を含む補正予算可決。

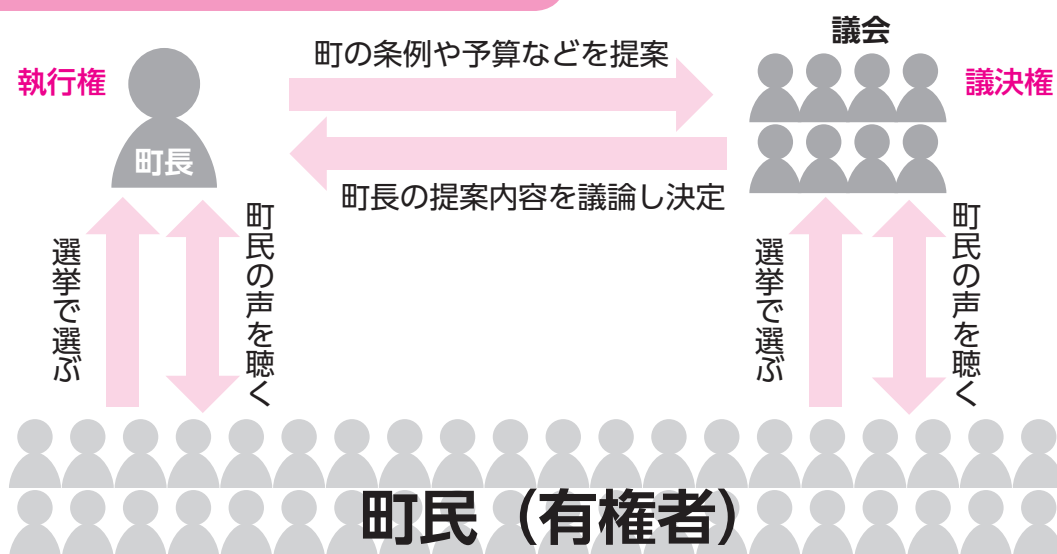
平成29年3月末現在 業者による詳細設計中

平成28年度涌谷町議会議員研修を開催

議会基本条例の検証、議会報告会のあり方を再検討

制定から3年が経過した議会基本条例の検証や運営の方法を学び、また、議会報告会のあり方を再検討し、町民の声をさらに町政に反映することを目的に、議員研修を開催しました。講師に、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏を迎え、これからの議会の役割、議員のあるべき姿について熱く意見を交わしました。

第1回(2月1日) 議会とは何か



議会
研修
会

議会の主な役割…政策を提言する
住民を代表し、町的意思を決定するなど

第2回(2月20日) 議会報告会のあり方について

第3回(2月21日) *ファシリテーションを修得する

現在の議会報告会…年2回(5月・10月頃)開催



よりよい議会報告会にするためじっくり議論

課題

- ・参加者が少なく、参加する年代や会場によって偏りがある
- ・参加者がいつも同じ顔ぶれ(区長、各種委員など)
- ・執行部への要望が多い
- ・特定の参加者ばかり発言する
- ・開催後、参加者の意見を政策に反映できていないなど

解決策をグループで話し合い

出された意見

- ・参加者が発言しやすい雰囲気をつくる
- ・議員と参加者の対話型の議会報告会
- ・町民の関心の高いテーマを設定する
- ・PTA 総会など、各種行事に併せて議会報告会を開催するなど

*ファシリテーション…会議などの場で、発言や参加を促したり、話の流れを整理して相互理解をサポートすること。

涌谷町議会

議会のこと 知ってください！

議会議談会

皆さんの意見 聴かせてください！

目的

議会は町民の方々への説明責任を果たし、町政のさまざまな課題に柔軟に対応するため、皆さんの地域で、議会で議論された内容を説明いたします。

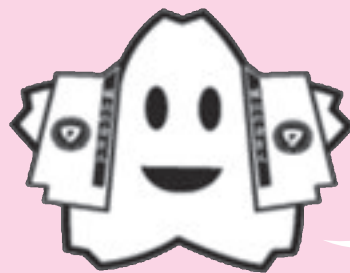
そして、議会活動や、町政に対する意見・要望・提言などをお聴きし、町民の皆さんと自由に情報交換や意見交換ができる場として、議会議談会を下記のとおり開催いたします。

説明事項

平成 29 年度予算概要、審議内容

意見交換内容

「今後の涌谷町～どんな町にしたいですか？」～夢を語ろう～



城山の金さん
涌谷町公式観光 PR キャラクター

皆様のご意見を反映し、日曜日に開催いたします。ぜひお越しください。

開催場所と日時 ☆開催日はいずれの会場も **5月28日(日)** です。

東地区

1 班

竹中弘光議員
稲葉定議員
後藤洋一議員
門田善則議員
遠藤稯雄議長(巡回)

午前 10 時から

●中地区コミュニティセンター
(涌谷字新下町浦)

午後 1 時 30 分から

●上地区生活センター
(上郡字沼頭)

西地区

2 班

佐々木敏雄議員
大友啓一議員
久勉議員
大泉治議員
遠藤稯雄議長(巡回)

午前 10 時から

●中島公会堂
(字新中島乙)

午後 1 時 30 分から

●役場

箕岳地区

3 班

佐々木みさ子議員
只野順議員
杉浦謙一議員
鈴木英雅議員
遠藤稯雄議長(巡回)

午前 10 時から

●協会館
(小里字五郎沢)

午後 1 時 30 分から

●馬追・長泥会館
(吉住字馬追畑)

お近くの会場にお越しくださいますようお願いいたします。お越しの際には、

5月15日(月)発行の『議会だより』をお持ちください。

主催：涌谷町議会

【問い合わせ先】 涌谷町議会事務局 電話：0229-43-2127

「わくや空手スポーツ少年団」

代表 山崎敦夫 黒澤哲哉

わくや空手スポーツ少年団の前身は47年前の1970年設立の日本空手協会永福寺錬成道場(浦谷支部)にさかのぼります。現在、幼稚園児、小、中、高、大、社会人まで一緒に時間を共有し、50人ほどで活動しております。

空手は進歩に応じ帯の色が白↓緑↓紫↓茶↓黒と変わり、試合における緊張感を体感しながら、その一つ一つの積み重ねによる成功体験が心に刻まれて参ります。

結果、全国大会として全小、全中、その後強豪校に進学し、高校全国選抜、インターハイ、大学では全日本学生選手権大会などで活躍しております。

社会は厳しく、予期せぬ状況での対応が必要となる場面もありますので、日々の厳しい稽古を積み重ね、将来、社会で経験するだろう難局を一つ一つ乗り越えていってくださることを期待しております。

空手は2020年東京オリンピック競技の正式種目に決定しております。わくや空手からオリンピック選手が生まれたら、みんなで応援に行きたいと楽しみにしております。

見学及び入会ご希望の方がいらっしゃいましたら、B&G武道館でお待ちしております。

連絡先

0229-4212514

(黒澤)



議会を傍聴

しませんか

次回の定例会は

6月下旬ごろ

開催予定です

詳しい日程と一般質問の内容は、後日配付の「定例会のご案内」でお知らせいたします。場所は役場西庁舎2階です。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎43-2127

一般質問を 動画配信 しています。

当議会では、議員ごとの一般質問の内容を、浦谷町ホームページで動画配信しています。ぜひご覧ください。

<http://www.town.wakuya.miyagi.jp/>



編集ろまん

わくや だより

「光陰矢の如し」。歳を重ねるとなご強く感じる。

今年の卒業式。小、中、高の校長先生の式辞で「これまで皆さんが生きてきたスピード以上にこれからの10年は、倍以上のスピードで世の中が変化する。それを心して人生設計を立ててほしい。」旨の話があった。

スマートフォン の出現は、第4次産業革命ともいわれている。

政治に携わる者の年齢は高齢化している今日、世の流れと、若者の生活環境や定住策などの施策にギャップが生じないよう精進しなければと思うのは私だけでしょうか。(佐々木敏雄)

発行人 浦谷町議会議長

遠藤 积雄

編集 広報広聴常任委員会広報分科会

分科会長 只野 順

副分科会長 竹中 弘光

委員 鈴木 英雅

委員 稲葉 みさ子

委員 佐々木 敏雄

委員 佐々木 敏雄